

## 自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
<b>I. 理念に基づく運営</b>				
<b>1. 理念と共有</b>				
1	○地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	心豊に暮らしてゆこう！をモットーにめぐり合えた方々の夢を叶え続けます。「ここに来てよかった」「あなたに会えてよかった」「生きていてよかった」いろんなよかったを応援します。	○	行きたい時に行きたい人と行きたい所へ、食べたいものを食べたい人と食べたい時に、未来に夢描く毎日でありますように、未来に夢叶う明日がありますように
2	○理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	夢を応援するという「利用者視点」の考え方を日々の会話の中、面接時等随時話題に出し周知を図っている。。	○	その応援するという姿勢の中でどういった介護につなげるのかを議論している。
3	○家族や地域への理念の浸透  事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	「mei's times」と言う季刊誌を発行しています。その中で事業所で行った行事等の情報を掲載しています。まずは地域の皆様に知っていただくことを考え、興味を持ってもらえるよう取り組みたい。		
<b>2. 地域との支えあい</b>				
4	○隣近所とのつきあい  管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	毎日の挨拶はもちろん、定期的にお祭りイベントを開催し地域の方をお招きしている。	○	地域のコミュニティーの一つとして受け入れられる。
5	○地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域自治会に参加、役員を務める。地域の運動会、夏祭りに積極的に出店する。	○	地域の子供会・老人会とのつながりを持っていきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域のコミュニティーセンターとも連携をとり、随時情報交換する。	○	まずは知っていただくこと、助けになれるように私たちはここにいますと発信を心がける。
<b>3. 理念を实践するための制度の理解と活用</b>				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	一つの節目として自分たちを見つめなおす機会とする。	○	全員で取り組み、サービスの質の向上に努めたい。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	地域を巻き込んだ行事としてお祭りを計画。運営推進会議では利用者の状況の報告に加え、直接状況を見ていただける機会を作り、より具体的な意見を聞く。	○	近隣の方々、いつも行く喫茶店、スーパーマーケットなどの方々、自治会長たちと話し合いをしていきたい
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市が運営するグループホーム部会に積極的に参加。市担当者と情報交換を行う。	○	他事業所とも情報交換し、交流したい。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	実際に成年後見制度を利用中の利用者を受け入れ、社会福祉協議会職員と協力し活用している。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	日々のケアの中で職員間で常にカンファレンスを開き、ケアのあり方を考える。	○	高齢者虐待について詳しい実態も含めた知識の周知をはかり、研修を実地したい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p> <p>重要事項説明書にのっとり理解を得れるように説明、ご家族に対し幅広い情報の提供を心がける。</p>	○	分かりやすい書面を作成し、分かりやすく説明することを心がける
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> <p>管理者が直接利用者からの不平、不満を聞くようにしている。また、職員間でも情報提供を心がけている。</p>	○	事業所内で全てを処理するのではなく、外部に向けての発信できる機構を構築したい。
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p> <p>ご家族様に利用者さん写真をハガキにしたお手紙を季節ごとに送っています。また、利用者さんの心身の状況に変化があった場合は速やかに連絡するように心がけている。</p>	○	より詳しい生活の状況等、情報の配信を行いたい。
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> <p>苦情、相談窓口を設け担当者が対応している。</p>	○	よりご意見を気軽に受けれるような構造を模索したい。
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p> <p>管理者が直接職員から話を聞くようにしている。</p>	○	サービスの実施を担当している職員からの意見をより反映したい。
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p> <p>利用者さんの体調に合わせ、現場の判断でフレキシブルに対応している。</p>	○	より効率的なシフトを随時考慮する。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者への負担がかからないよう努力はしているが離職者が続くと現状は厳しく職員への負担が多くかかってくる。職員の異動や離職に対しては運営者・管理者・離職者とよく話し合い、利用者へ与えるダメージの軽減に努めている。	○	異動は出来れば定期的に行い常に全職員がグループホーム全体の馴染の顔であるよう努力し、利用者負担がかからないよう努める
<b>5. 人材の育成と支援</b>				
19	○職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・月に一度の職員会にて情報を共有することにより職員間の信頼関係を構築することを周知している。・社内研修・社外研修においてはシフト勤務のためタイムリーに参加できないこともあるが、機会があれば参加を促す・社内研修に関しては新人研修の実施・各事業所の管理者対象に管理者会議の実施・職員一人一人に研修ファイルを配布し、研修を受講した場合研修記録の作成・シフトに入りながらも資格取得のため研修受講の際、勤務は配慮する	○	今後も社外研修等は受講できるよう配慮していきたい
20	○同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・地域との連携を図るため積極的な地域行事には参加すること ・担当者会議及び地域連絡会議等にも積極的に参加	○	地域の同業者との相互関係を大切にシケアの質の向上に努めていきたい
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み  運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	・実際問題困難な場合が多いが、できるだけ人間関係を考慮した人員配置 安定した職場であるために福利厚生を利用し定期的な食事会等を行い本音で話し会える場を作っている。また日々の業務の中でも随時話し合いを持つ事でスタッフの思い、希望、悩み等も尊重できるよう努めている	○	・今年度より産業カウンセラー導入による職員のストレス対策を実施・職員会やカンファレンス等での意見交換や日々の業務の中で管理者と1対1で話し合うなどし、ストレスの軽減に努めていきたい。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み  運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	管理者やスタッフの話聞き、スタッフ一人一人の状況を把握できるよう努めている・できるだけ積極的に一人一人に声かけをし、今の不安を解消できるよう努めている	○	なお一層スタッフとの関わりを持ち、しっかりと方向性を示しスタッフと一緒に取り組んでいきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	アセスメントの中でご本人の希望、夢、したいこと等を聞き取り、またより利用者さんを理解する為に過去からの人物像を情報収集する。	○ よりご本人の希望に近づき対応できるように、言語はもちろん非言語的な情報も集めたい
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面接時はゆっくりとご家族が時間をとれることを重視し、穏やかな雰囲気の中で聞き取りを重視している	○ ご家族の気持ちに共感し、またそのなかでご本人さんの希望と家族さんの希望のすり合わせがしたい
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	常に必要なサービスを考え、広い視点を持つようにしている。	○ 必要なサービスを的確に判断出来る知識を持てるように自己研鑽、また研修を実施したい
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	特に他のご利用者さんとの関係を重視し、その和の中に溶け込めるように、援助している。	○ 特に入所初期にはご家族の協力が不可欠である。ご家族に負担無く協力できる体制を作りたい
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	常に「利用者さんの選択」を意識している。目的を持てる日常を考え、本人の意思、ご家族の気持ちを大切にしている。	○ 本人、ご家族との話し合いの場を多く持ち、希望に添えるよう努力していきたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族の気持ちに共感し、ご相談をしていただける雰囲気作りを心がけている。	○	家族と職員が共に情報を共有できるような仕組みがほしい
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援  これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家人、利用者、双方に共感しお互いの気持ちを伝え合える架け橋を心がけている	○	家族の生活の負担にならないよう利用者の日常を伝えていく努力をする。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	懇意にされている主治医との関係を理解し、利用者さんの安心を第一に考える。	○	馴染みの方々とのつながり、住んでいた場所などを知り、個別に援助する。
31	○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者さん同士のコミュニケーションが行き違わないように、うまく繋がるように援助を心がけている。	○	職員がパイプ役になれるようにする。
32	○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	実例なし	○	社会資源としての存在意義を拡張し、いつでも「拠り所」となれるようにしたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1. 一人ひとりの把握</b>			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者さん、あるいは家族との関係の中で常に情報収集している。	○ 利用者さん各々の思いを実現したい
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族からの聞き取り、利用者さん本人にも教えていただき、アセスメントシートを作成している	○ アセスメントシートを掘り下げていきたい。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	利用者さんに無理なく、能力を駆使した生活をおくっていただくために常に様子を観察し把握に努めている。	○ 利用者さんの能力を『奪わない』ケアを実践したい。
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者さん自身が困難と感じていることや、必要であると考えている事柄を主題としている	○ よりご本人が思う夢、希望に近づけるような計画にしたい
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	心身の状況の変化に合わせ、常にモニタリングを行い計画を見直している。	○ 見直した計画がスピーディーにケアに反映できるようにしたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	書面はもちろん、職員間で話し合うことを大切にしている。	○	情報の共有に努力する。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	事業所全員での旅行を計画、実施した。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	なじみのボランティアさんに来所を依頼する。祭りの時など地域の民生委員さんにも参加してもらう。	○	地域の民生委員、自治会等と協力し地域での貢献を行いたい。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	市社協、地域のケアプランセンターとは常に連携を保ち、また当事業所で開催するイベントにお誘いさせていただきコミュニティとして開かれた施設作りをしている	○	誰でも気軽に出入りできる公民館のような場でありたい
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターとの共働はない	○	地域の核となる支援センターと連携をとり地域の社会資源として役立ちたい。



項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	○	ターミナル期援助により深い医療との連携が必要。また医療、家族、施設、その他社会資源、あらゆる立場からの援助がターミナル期には必要。
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	○	ターミナル期、体調管理等の話し合いを常にもうける
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	○	地域の訪看さんとの連携
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	○	高齢者に対する医療として、互いに理解し、共存できる病院を見つけたい。
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	ターミナル期での援助は家族、医療の力が必ず必要。また、人間の尊厳に関わる問題も含むので研修で知識を周知したい
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	何よりご本人、家族の希望を叶えるために事業としての機能を考えたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止  本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	詳細な申し送りを行うようにしている		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>				
(1) 一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報保護を徹底し、人間の尊厳を意識した対応を心がけている。また、過去の個人史にも留意している	○	プライバシー保護についての研修を実施したい
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援  本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	常に利用者さんの『選択』を意識し、支援している		
52	○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	行きたい場所へ行きたい人と、したいこと、してみたいこと利用者さんの夢を叶えられるように援助している。	○	誰と行きたいか、どこへ行きたいか、何をしたいか、いつも理解する努力をする。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	要望に沿い美容室等へのお出かけを実施している。また、特にご要望がない方、外出が難しい方については理容店のボランティアを招いている。	○	目的を持つことで、その人らしい楽しいおしゃれができると思う。目的を持つ日常を支援していきたい

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	○	<p>食べることの楽しみをより追求し食への感心を保てるように援助したい</p>
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	○	<p>タバコの取り扱いについて、副流煙に気を配り失火にも気をつけたい。喫煙場所指定で対処してる</p>
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	○	<p>プライバシー保護、清潔保持等より気を遣いたい</p>
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	○	<p>利用者さんの体調、タイミングに応じた清潔保持にも気をつけたい。</p>
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	○	<p>個人個人の感情や気持ち考え方に添えるように関係を構築したい</p>
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	○	<p>少数でも団体生活に切り離せないストレスをいかに個人の趣向にあった形で晴らせるか考えたい</p>


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭感覚を保つために希望者にはお財布を持っていただいている。職員は紛失等に留意し、ご本人の了解のもと管理している。	○	金銭に対するトラブルを防止、予防し家族の理解をより得られるようにしたい
61	○日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	春になればお花見、天気がよくて気持ちのよい日は希望だけでなく職員からのお誘いもしている	○	「行きたい所へ、行きたい時に、行きたい人と」をモットーに希望に添える様にしていきたい。
62	○普段行けない場所への外出支援  一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	利用者さんの希望も聞きながら、毎年温泉旅行を企画している。家族にも希望していただける方は参加していただいている。	○	「行きたい所へ、行きたい時に、行きたい人と」をモットーに希望に添える様にしていきたい。
63	○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話、手紙等希望あれば利用者さんができない部分を補助しながらしていただけるようにしている	○	希望時のみならず、手紙をかく等のきっかけ作りにも努めている。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援  家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	ご本人とご家族、知人等の方がご都合がよい限り訪問時間は特に設定せず、他の利用者さんの迷惑とならない限りいつでも何時でも来て頂ける様にしている	○	家人が来所時にも居心地のよいよう努めていきたい。
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践  運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束について周知し、拘束を行っていない	○	身体拘束についてより知識を深めるために研修を実地したい

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	○	考えられるリスクに対し対処していきたい
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	○	1回/h巡回している。特に夜間は睡眠の妨げにならないよう配慮している。
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	○	タバコ等の体内で毒物となるもので個人所有物に対しさらに安全に使っていただけるように配慮したい
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	○	特に誤薬に対してはDrとの緊急連絡等対策を更に充実させたい。火災等についても消防署と協働し避難訓練などを行っている
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	○	定期的に応急訓練続けたい
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	○	定期的な訓練を続けたい。また、火災、地震等状況にあった訓練の実施も考えている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	利用者さんが持っているリスク、起こりうる状況等について家族と話し合っている	○	利用者さんの穏やかな生活のためには家族の協力が必ず必要です。より快適な生活を援助するために家族とのつながりを保ちたい
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日のバイタル測定、様子の変化を観察し有事の際は速やかにDr、管理者等に連絡を取れるようにしている。	○	健康に関する研修行い、知識を周知したい
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤について詳しくDrからレクチャーを受けるとともに薬剤にかんする書物を常備している。	○	薬剤、病気に対する研修を行っていききたい
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	各人愛用の排便を促進させる食事や飲み物を教えていただき、運動、トイレへ促し行い、薬物に頼らない排便を心がけている	○	ヨーグルト・食物繊維を多く含むものをすすめている。又、水分の摂取量にも気を配っている。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎日の口腔ケアを実施し衛生を保っている	○	口腔ケアに関する研修行いたい
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の水分量、食事量を必要に応じ記載し管理してりる。	○	栄養バランス、嚥下に関する研修を行いたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防  感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症に関する知識を周知している。また、Drからの指示もあわせ全職員に対し交付してる	○	より詳しい研修したい
79	○食材の管理  食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	賞味期限、開封年月日必ず記載、確認し管理している	○	食中毒に関する研修したい
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫  利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	開放的に清潔に誰もが入りやすいイメージをもっていたけように開かれた施設作りを実践している		
81	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	常に清潔、安全、プライベート保持を心がけ心が穏やかになれるようにお花や装飾を使っている	○	共用空間には、利用者さんが使いやすいよう工夫したものを置く等している。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	穏やかで暖かい憩いの場所を共用部分で目指している。	○	話し弾むような、穏やかになれるような、リラックスできる場所を作りたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	居室はできる限りご本人がいつも使用して る物品を持ち込んでいただき、装飾等も利 用者さんのお好きなようにしていただい ている。	○	災害に備え対震、耐火の備えをさらに進めたい
84	○換気・空調の配慮  気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大 きな差がないよう配慮し、利用者の状 況に応じてこまめに行っている	掃除のとき等に必ず換気は行い、温度も 随時調節している。	○	共用空間、居室ともまめに掃除している。 天気のよい日は窓をあけ、換気に努め ている。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの身体機能を活 かして、安全かつできるだけ自立した生 活が送れるように工夫している	洗面台、トイレ等分かりやすく配置し 転倒のリスクないように段差はなるべく 排除している	○	必要に応じて、居室の玄関に、利用 者さんに合った手すりを設置する等 している。
86	○わかる力を活かした環境づくり  一人ひとりのわかる力を活かして、混 乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるよ うに工夫している	個人個人の力に合わせ、更衣、食事等 生活全般に対し必要な援助を行い、 ゆっくりでも自分でできる暮らしを 目指している	○	自尊心を損なわないケアを目指し、 利用者さん自身が作る生活をお手 伝いしたい
87	○建物の外周りや空間の活用  建物の外周りやベランダを利用者が 楽しんだり、活動できるように活かし ている	敷地内にプランター、花壇等の植物、 たこ焼き屋、若干の敷地をもってい るのでBBQしたり、お餅つきしたり、 日向ぼっこしたり、おやつを食べ たりするのに活用して	○	四季、時事にあわせ工夫を凝らして いきたい

(  部分は外部評価との共通評価項目です )



V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

利用者さんの選択を意識し、利用者さん自身がつくる暮らしを手伝いと願っています。暮らしの中で四季を感じ、晴れの日には太陽を、雨の日には雫を、曇りの日は厚い雲を見上げて夏は日差しの中でスイカを食べて、春は桜のお花見で、秋は赤く染まった紅葉を、冬は寒いからコタツでぬくぬく、その日その時を楽しんで、したいこと、してみたこと、人それぞれの夢を一緒に叶えましょう。